

8月5日（月） 総務文教常任委員会

調査件名

- 給食センターの改修について
- 広野駅周辺開発について
- 所管施設の調査について
- ・広野中学校

総務文教

給食センターの建設

●建設工事
第3回臨時会において工事請負契約の締結を議会が否決したことを受け、給食センター本体とロータリー部分を分離するよう設計変更を行い再度入札を行うとのことでした。

●給食展示等
町職員、こども園職員、保健師等が参加し、6月に第1回目の食育の検討会を開催したとのことでした。

完了予定で、令和7年度の3学期中からの給食提供を目指す工程で進めていくとのことでした。

肥満度が高いこと、お達者度が低いことなどの町の状況を鑑み、町全体の食育の発信基地として活用できるよう検討を進めているとのことでした。

総務文教

広野中学校

施設の概要

広野中学校の現校舎の概要については、校舎が昭和45年建築で築54年、実習棟が平成24年建築で築12年、体育館が平成22年建築で築34年、いずれも法定耐用年数は47年であるとのことでした。

校舎においては、これまで耐震補強工事、校舎の空調設備工事、LED化工事等を行った。

また、校舎が建て替える時期にきていることを喫緊の課題と捉え、財政状況等も踏まえて検討をしているとのことでした。

報告

を報告します

総務文教

駅周辺開発

●新広野駅舎
JR水戸支社によりコンパクト駅舎の建設が開始されたとのことでした。

●駅東ニュータウン
地域の魅力向上、移住定住の促進などを実現するため、町とパナソニックホームズ株式会社に加え、16社に参加いただき協議会を立ち上げたとのことでした。

タリ一整備工事を実施する予定とのことでした。

今後、協議会において、先進地の視察や研修等を行い、これまでになかった地域サービスを企業と共に実現できるように進めていきたいとのことでした。



工事が進む新広野駅舎（コンパクト駅舎）

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

老人福祉センター

●設置目的・事業内容
老人福祉の振興を図ることを目的として設置され、開設当初から社会福祉法人広野町社会福祉協議会が管理を行うとともに、生きがいミニデイ事業等の業務を町から受託して実施しているとのことでした。

●コンプライアンス
及びリスク管理
令和5年4月の職員不祥事発生に伴い、令和5年5月26日にコンプライアンス行動方針を定めてすべての活動の基本に置くこととし、点検等の打ち合わせにより改善を進めているとのことでした。

違反が出た場合でもしっかりと対応できるよう、マニュアルや相談窓口の整備をするよう要請しました。

行動方針に定めた研修体系の整備については、昨年度は県社会福祉協議会等の研修に延べ15日程参加し、今年度は外部講師を招いた研修を秋に行うほか、檜葉町の通所介護事業所との人事交流も行う予定とのことでした。

●施設の状況
SRC造平屋建てで、東日本大震災時も軽微な被災で済み、樹脂注入の修繕だけとのことでした。

今後はLED化等の環境整備を予定しているとのことでした。

産業厚生

保健センター

●設置目的・事業内容
健康の保持及び増進を図ることを目的として設置され、正職員保健師4名と会計年度任用職員1名、夜間管理員1名を配置しているとのことでした。

保健師の訪問活動については、震災直後は全世帯に対して行っていました。現在は健康診断結果に基づくハイリスク者や母子に対する訪問を主として行っているとのことでした。

●コンプライアンス
及びリスク管理
福島県自治研修センターや町独自の研修会

等において服務規律遵守等の徹底に取り組んでいるとのことでした。

●施設の状況
ガラス面が多い施設で、朝一でトレーニングルームのエアコンをつける、健診の際は窓に紙を貼る等の暑さ対策をしているとのことでした。

その他、トレーニングルーム利用時の着替える場所が無い、調理実習室の利用は健康づくりに関するものに限るなど施設の状況を確認し、環境整備や周知による利用促進を図るよう要請しました。

8月7日（水） 産業厚生常任委員会

調査件名

- 所管施設の調査について
- ・広野町老人福祉センター
- ・広野町保健センター



生きがいミニデイ事業（料理教室）



LED化されていない老人福祉センター



常任委員会後に整備されたトレーニングルーム更衣室